

# 2024年12月期（第119期） 第3四半期 業績概要

2024年11月13日  
日東精工株式会社  
(証券コード 東証プライム:5957)



2024年3月  
健康経営優良法人  
(ホワイト500)  
4年連続認定

2022年3月  
なでしこ銘柄  
初選定

単位：百万円／％	2023/12 第3四半期		2024/12 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	33,217	100.0	<b>34,019</b>	100.0	801	2.4
売上総利益	7,416	22.3	8,030	23.6	613	8.3
販売管理費	5,714	17.2	5,771	17.0	56	1.0
営業利益	1,702	5.1	<b>2,259</b>	6.6	556	32.7
経常利益	1,926	5.8	<b>2,377</b>	7.0	450	23.4
税金等調整前当期純利益	1,930	5.8	2,328	6.8	397	20.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,122	3.4	<b>1,467</b>	4.3	345	30.7
一株当たり当期純利益（円）	30.39		40.17			

## 決算のポイント

### 売上高

- 制御事業のエネルギー関連向け分析装置、PFAS規制に対応する分析装置、人手不足を背景に自動車向け部品検査機が好調。また、欧州拠点を2023年4月に設立したことに加え、産機事業のねじ締め機を中心に価格転嫁が進んだことから、前年同期比2.4%の増収。

### 営業利益

- ねじ締め機を中心に価格転嫁が進んだこと、高付加価値の分析装置の出荷が進んだことから、前年同期比32.7%の増益。

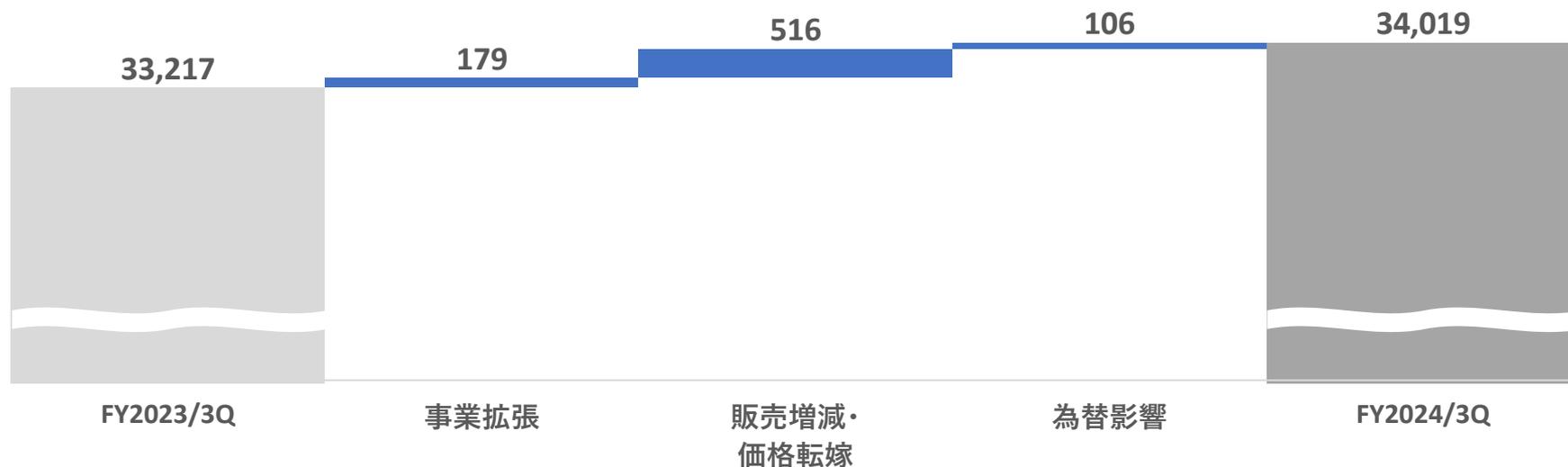
### 海外

- 中国の自動車業界向けファスナー製品が昨年からの反動を受けて復調したことに加え、欧州拠点での分析装置の販売も好調に推移し、売上高は増加。

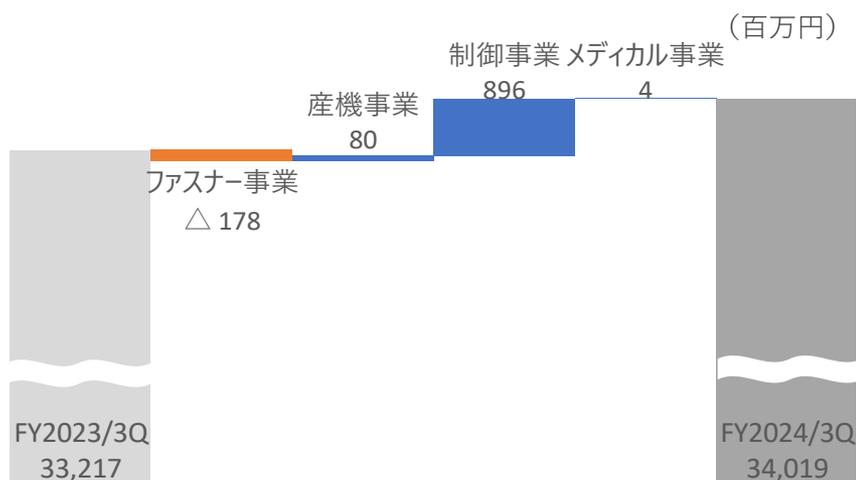
# セグメント別売上高（連結）

## 増減要因

(百万円)



## セグメント別



### 事業拡張

2023年に開設した日東精工アナリティックヨーロッパが貢献。

### 販売増減

制御事業のエネルギー関連・環境分野向け分析装置、自動車向け部品検査機が好調。

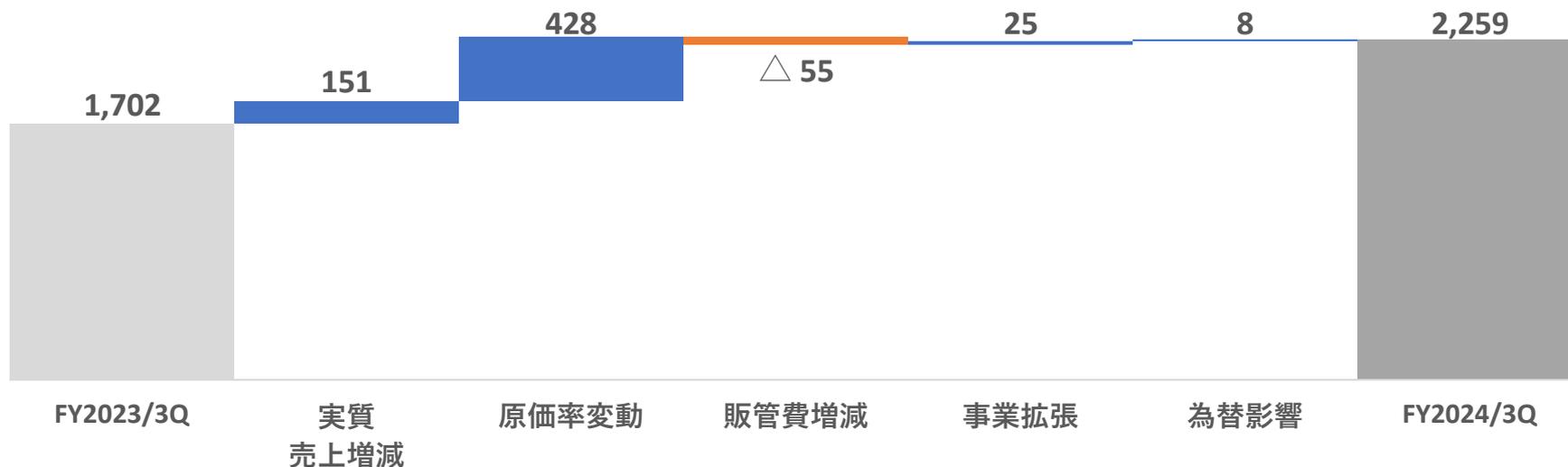
### 価格転嫁

ねじ締め機関連の価格転嫁が進んだ。その他は引き続き交渉中。

# セグメント別営業利益（連結）

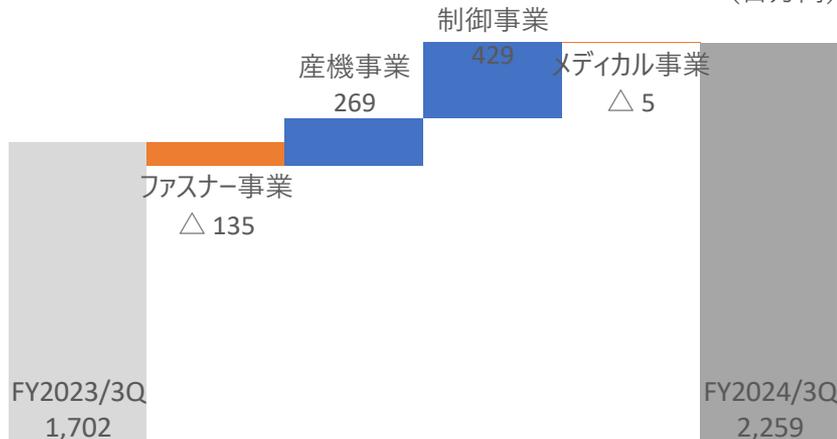
## 増減要因

(百万円)



## セグメント別

(百万円)



原価率  
変動要因

ねじ締め機関連の価格転嫁の効果が表れ原価率が改善。また、高付加価値の分析機器の出荷が進んだことも寄与。

販管費  
変動要因

賃上げにより労務費が前年比約3.4%（約75百万円）増加。

事業拡張

2023年に開設した日東精工アナリティックヨーロッパが貢献。

# セグメント別業績概要～ファスナー事業



## 概況

- 売上高は、主力の自動車は堅調だったものの、ゲーム機市場の需要の落ち着き、建設業界の深刻な人手不足・資材高騰による計画遅延などの影響で、前年同期比で減収。
- 営業利益は、主材料の線材に加え副資材費・賃金・物流費などの上昇に対し価格転嫁を推進するも、十分な反映には至らず前年同期比で減益。
- 製造工場の集約による効率化・原価低減を推進中。

## 業界別コメント

### ◆自動車

- 国内自動車メーカーの型式認証問題に起因する生産停止の影響を受けつつも、CASE・EV向けに、オリジナル品のゆるみ止めねじ「ギザタイト」、座金組み込みねじ「アスファ」、締結粉飛散防止ねじ「CPグリップ」、「精密プレス製品」が堅調。軽量化・薄板化の締結に貢献する「JOISTUD」、バッテリー向けの異種金属接合「AKROSE」も引き合い活発。

### ◆住宅・建築

- 国内の需要はあるものの、業界の深刻な人材不足・資材高騰により計画遅延などの影響で前年同期比減。2月に、ばね座金・平座金を不要にできる新製品、フランジ型ゆるみ止めボルト「カップボルト」を販売開始し拡販中。

### ◆電機・電子部品

- 欧州、中国での消費低迷の影響はあるものの、インドネシアでの家電需要が回復傾向にありやや増加。

### ◆雑貨

- 巣ごもり需要で盛り上がったゲーム機市場が落ち着き、精密ねじの売上が減少。

### ◆IT・情報機器

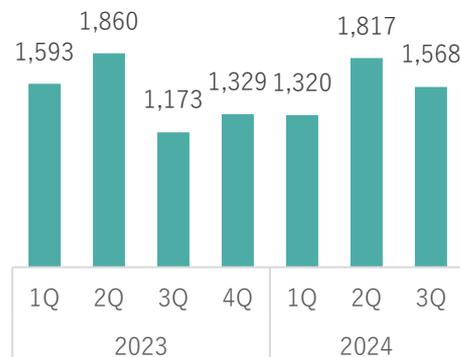
- 中国、マレーシアでOA機器向けが増加。

単位：百万円／%	2023/12	2024/12	前年同期比	
	3Q	3Q	金額	増減率
売上高	24,546	24,367	△ 178	△ 0.7
自動車	9,514	9,558	44	0.5
住宅・建築	5,541	5,308	△ 233	△ 4.2
電機・電子部品	3,513	3,546	33	0.9
雑貨	1,722	1,518	△ 204	△ 11.8
IT・情報機器	981	1,210	229	23.3
精密機器	821	863	42	5.1
医療	239	232	△ 7	△ 2.9
その他	2,215	2,133	△ 82	△ 3.7
営業利益	1,140	1,004	△ 135	△ 11.9

# セグメント別業績概要～産機事業

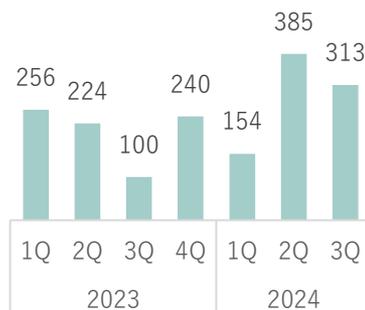
百万円

売上高



百万円

営業利益



## 概況

- 売上高は、EV販売の減速や米国における大統領選前の設備投資停滞の影響があるものの、既存業界以外からも電動化需要、人手不足を背景にした自動化需要が高まり、前年同期比でやや増。
- 営業利益は、ねじ締め機において2Qより価格転嫁が進み原価率が改善した影響で、前年同期比で増益。
- 8月に高精度・高機能NXドライバの低トルクモデルをリリース。

## 業界別コメント

### ◆自動車

- 国内においてはCASE関連のねじ締め機の受注、新車種向け設備の受注が増え、2Qよりはやや回復傾向にあるものの、米国での設備投資停滞、世界全体のEV販売減速により低調に推移。

### ◆電機・電子部品

- 昨年の大型設備受注の反動を受けるも、空圧機器向け組立設備の増加により前年同期比でやや増。

### ◆エネルギー

- スマートメータ、電力計向け設備の更新需要がありやや増。

### ◆遊技機

- 昨年の大型設備受注の反動で減少。

### ◆IT・情報機器

- 昨年の韓国携帯電話向け受注の反動で減少。

### ◆雑貨

- チャイルドシートのねじ締め機を新たに受注。

### ◆その他

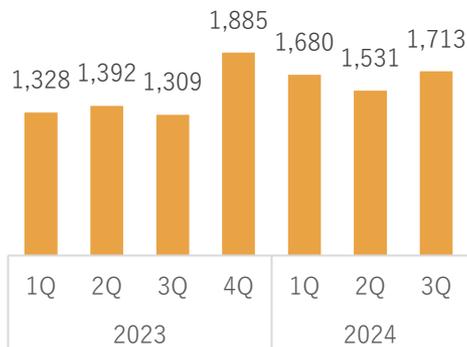
- 汎用エンジン用設備の大型案件、工業用ポンプ用設備、家具組立用設備、半導体設備メーカーから受注があり増加。

単位：百万円／％	2023/12	2024/12	前年同期比	
	3Q	3Q	金額	増減率
売上高	4,626	4,706	80	1.7
自動車	2,616	2,434	△ 182	△ 7.0
電機・電子部品	828	868	40	4.8
エネルギー関連	159	192	33	20.8
遊技機	209	132	△ 77	△ 36.8
住宅・建築	147	115	△ 32	△ 21.8
IT・情報機器	162	102	△ 60	△ 37.0
雑貨	10	55	45	450.0
その他	494	808	314	63.6
営業利益	581	851	269	46.3

# セグメント別業績概要～制御事業

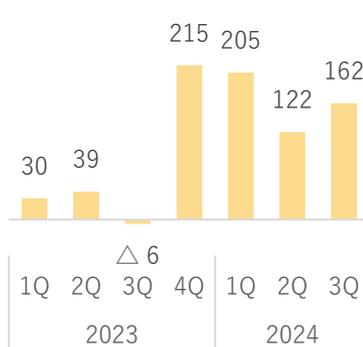
百万円

売上高



百万円

営業利益



## 概況

- 化学・薬品、エネルギー関連を中心に分析装置が好調。加えて、PFAS規制を背景にした欧州での分析装置販売、自動車向け部品検査装置の大型受注により、前年同期比で増収増益。
- 新製品開発に加え、原価のみえる化、加工部品の内製化・組立生産効率化、販売価格の改定などを進める。

## 業界別コメント

### ◆化学・薬品

- 北米での分析装置の販売が堅調に推移。商流見直しにより中国子会社での販売を開始し、販路を拡大中。

### ◆エネルギー

- 中南米で石油精製向け水分・滴定計の特需があり増販。

### ◆環境

- PFAS規制による有機フッ素の分析需要に3月販売開始した新製品「自動試料燃焼装置 AOF/AQF-5000H」が対応し大幅増。環境配慮製品への関心からマイクロバルへの問い合わせ増加中。

### ◆自動車

- 部品検査装置MISTOLの大型受注により大幅増。また、電池材料など抵抗率計の需要が増加。

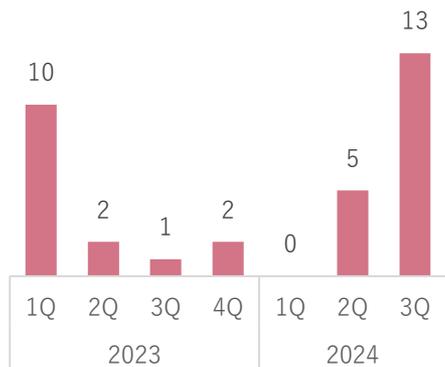
### ◆住宅・建築

- 地盤調査機「ジオカルテIV」は、戸建て住宅着工件数が伸びを欠く影響で低調に推移。タイ運輸省地方道路局へ初売上。

単位：百万円／％	2023/12	2024/12	前年同期比	
	3Q	3Q	金額	増減率
売上高	4,029	4,926	896	22.2
化学・薬品	964	1,011	47	4.9
エネルギー関連	643	1,001	358	55.7
環境	169	482	313	185.2
自動車	187	479	292	156.1
電機・電子部品	267	275	8	3.0
造船	238	246	8	3.4
住宅・建築	332	221	△ 111	△ 33.4
食品	60	97	37	61.7
医療	116	90	△ 26	△ 22.4
その他	1,055	1,024	△ 31	△ 2.9
営業利益	63	492	429	679.4

百万円

売上高



百万円

営業利益



## 概況

- 医療用照明器「フリーレッド」は、コロナ禍を境に顧客要望の高いコスト低減を図りつつ、市場ニーズの収集と提案活動を推進するも、本採用には至らず。今後も販社を通じたPR強化にも注力し、本採用を目指す。
- 「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」は、2023年の国内特許取得に続き、2024年7月に米国特許取得。他の主要6ヶ国へ申請済みの特許も順次取得予定。現在は一貫製造設備の整備、非臨床試験に向けた試料の製作、性能試験を進めるとともに、医療用製品販売に向けた許認可取得の準備、品質管理体制の構築など、上市に向けた取り組みを継続中。また、並行して本素材の適用可能性について情報収集を進める。
- 当社既存技術を活かした新たな医療機器の製造受託案件の獲得に向けた体制を構築中。

単位：百万円／%	2023/12	2024/12	前年同期比	
	3Q	3Q	金額	増減率
売上高	15	19	4	27.0
医療	15	19	4	27.0
その他	—	—	—	—
営業利益	△82	△88	△5	—

# 連結貸借対照表

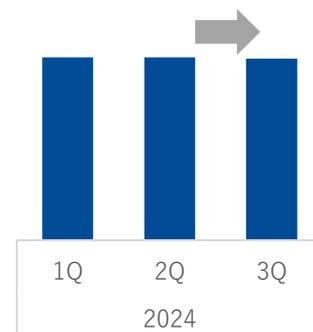
単位：百万円／％	FY2023/4Q		FY2024/3Q		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
<b>資産の部</b>						
流動資産合計	33,822	63.4	34,937	65.2	1,114	3.3
現金及び預金	8,849	16.6	9,418	17.6	568	6.4
受取手形・電子記録債権/売掛金	12,794	24.0	12,683	23.7	△ 110	△ 0.9
棚卸資産	11,023	20.7	11,278	21.0	255	2.3
固定資産合計	19,521	36.6	18,657	34.8	△ 864	△ 4.4
有形固定資産	14,129	26.5	13,904	25.9	△ 225	△ 1.6
無形固定資産	999	1.9	892	1.7	△ 107	△ 10.7
投資その他の資産	4,391	8.2	3,860	7.2	△ 531	△ 12.1
<b>資産合計</b>	<b>53,344</b>	<b>100.0</b>	<b>53,594</b>	<b>100.0</b>	<b>250</b>	<b>0.5</b>
<b>負債の部</b>						
流動負債合計	12,901	24.2	12,393	23.1	△ 507	△ 3.9
支払手形・電子記録債務/買掛金	8,615	16.2	8,357	15.6	△ 258	△ 3.0
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	1,574	3.0	1,308	2.4	△ 265	△ 16.9
固定負債合計	4,040	7.6	3,723	6.9	△ 317	△ 7.8
<b>負債合計</b>	<b>16,941</b>	<b>31.8</b>	<b>16,116</b>	<b>30.1</b>	<b>△ 825</b>	<b>△ 4.9</b>
<b>純資産の部</b>						
資本金	3,522	6.6	3,522	6.6	－	－
資本・利益剰余金	29,400	55.1	30,062	56.1	661	2.3
自己株式	△ 1,562	△ 2.9	△ 1,527	△ 2.8	34	－
<b>純資産合計</b>	<b>36,402</b>	<b>68.2</b>	<b>37,478</b>	<b>69.9</b>	<b>1,075</b>	<b>3.0</b>

## 2. 2024年12月期(第119期)業績予想

本資料に掲載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこの見通しと異なる場合があります。

単位：百万円／％	FY2023		FY2024（予想）		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	44,744	100.0	48,200	100.0	3,455	7.7
営業利益	2,614	5.8	3,300	6.8	685	26.2
経常利益	2,835	6.3	3,500	7.3	664	23.4
親会社株主に帰属する当期純利益	1,734	3.9	2,100	4.4	365	21.1
一株当たり当期純利益（円）	46.95		57.46			

注残の推移



## 予想のポイント

### 売上高

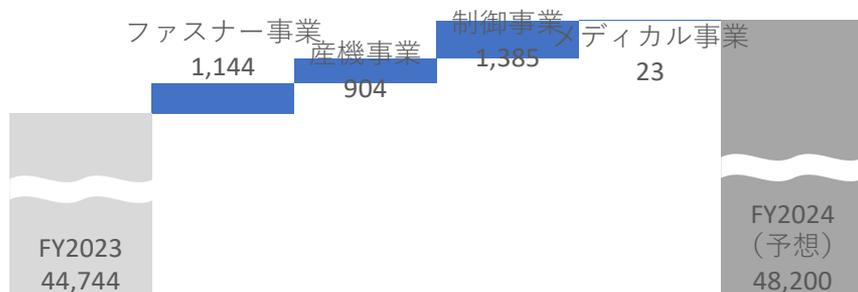
- 今期前半は、主力の自動車向け顧客での在庫調整、主要国の経済成長の鈍化により勢いを欠いていたが、後半以降は在庫過多の解消が進んだことに加えて精密部品の大口受注も牽引し、一定水準まで回復すると予測。また、海外拠点の一部は復調が待たれるものの、エネルギー・環境関連で需要が見込まれる分析機器は好調を維持しており、グループ全体で補完。

### 営業利益

- 制御事業の分析装置などの高付加価値製品の販売が継続見込み。また、2Qから進んだねじ締め機関連の価格転嫁の効果が表れる見通し。加えて、ファスナー工場の集約、価格転嫁が未完である製品の交渉の継続、部材の見直し、加工部品の内製化などにより、引き続き収益改善を推進中。

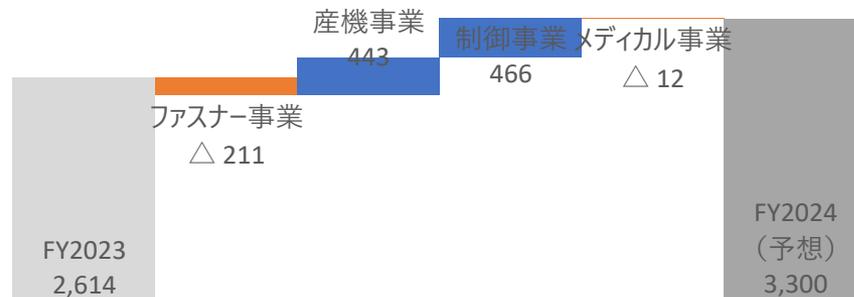
(百万円)

セグメント別売上高増減



(百万円)

セグメント別営業利益増減



# セグメント別市場動向と取り組み状況

事業	主な市場動向		取り組み状況・今後の取り組み	注残の推移
ファスナー	自動車	日系メーカーが各種電動車強化のため日本国内にバッテリー工場を新設予定。型式認証問題に起因する生産停止の余波はあるが、車両の軽量化、薄板化ニーズが続く。	自動車向けに「AKROSE」、「JOI STUD」シリーズ、住宅・建築向けに座金不要の新製品「カップボルト」の拡販を進める。主材料費に加え、副資材費・賃金・物流費などの上昇を受け、価格転嫁を実施中。また、工場再編をはじめとする製造コストの削減に取り組む。	
	住宅・建築	国内の需要はあるものの、業界の深刻な人材不足・資材高騰により計画遅延などが発生。		
	雑貨	落ち着きを見せていたゲーム機市場の上昇に期待。		
産機	自動車	EV化は一時的に減速傾向にあるものの将来的には電動化やADAS領域は加速すると予想。インバータ、先進安全システムECUなどの搭載車種拡大が見込まれECU関連の設備案件は増加傾向。	自動車においてはバッテリー拡販チームによる拡販を推進中。電力計の特殊機案件の受注に向け、生産能力拡大のための新たな協力工場の開拓も検討中。 中国・タイ現地法人でアジアモデルの共同開発を進めており、デモ機を展示会出展しPR。	
	電機・電子	中国リスクと円安の影響により国内生産回帰。半導体業界の回復により得意とする半導体検査装置の受注が回復基調。		
	エネルギー関連	新メータの生産増強により各社で設備導入が進む見通し。		
制御	化学・薬品	LIB向けは中国を含む一部地域で需要が減速も、国内など次世代電池材料向け需要は継続の見込み。	電子材料やPFAS関連需要向けに新製品「自動試料燃焼装置 AOF/AQF-5000H」の拡販を進める。人手不足を背景にした検査機関連の引き合い増に対応予定。加えて、原価のみえる化、加工部品の内製化・組立生産効率化、販売価格の改定などを進める。	
	エネルギー関連	脱炭素による需要減の一方、SAF等再生燃料、合成燃料などの需要を見込む。		
	環境	欧州、米国でPFASの法規制により引き続き分析装置の需要を見込む。		
メディカル	開発計画	7月の米国を皮切りに、「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム」の海外特許を順次取得予定。本製品の製造設備の整備並びに非臨床試験に取り組むとともに、臨床試験の準備にも取り組み、医療機器製品の拡販や新製品の開発に努める。当社既存技術を活かした新たな医療機器の製造受託案件の獲得に向けた体制も構築中。		